

インドネシア語科

インドネシア語を勉強してみませんか。インドネシアは世界に誇れるものがたくさんある国です。しかし日本の人たちはインドネシアのことをほとんど知りません。インドネシアは赤道にまたがる1万3千もの島々からなる群島国家。多種多様なエスニックグループを抱え、人口は約2億6千万で世界第4位。「赤道にかかるエメラルドの首飾り」と称されるほど美しい海と緑に恵まれた南の国。イスラム教徒人口は世界第1位。スイーツの材料としてよく使われるココナツの生産量も世界一です。日本人に大人気のリゾート地、世界でも有数の観光地「神々の島」バリ島はインドネシアにある小さな島。世界遺産はボロブドゥールをはじめ、文化遺産、自然遺産合わせて8つ。みなさんよくご存知の「デヴィ夫人」はインドネシア初代大統領スカルノに嫁いだ日本人女性です。第2次世界大戦時は約3年間日本統治下にありました。それは両国にとって悲しい歴史でもあります。それも含めて日本とはご縁が深いのです。どうですか？心惹かれませんか？ちょっとでも興味をもったら是非インドネシア語科を覗いてみてください。「インドネシア語、やってみたい」「インドネシア、行ってみたい」という方ならどなたでも大歓迎です。経験豊かな講師陣がみなさんをインドネシア語の世界へ誘います。

インドネシア語はインドネシアの国語であり、多種多様な文化、独自の言語を持つエスニックグループ間の意思疎通のツールとして使用されています。文法規則が少なく構造もシンプルで比較的取り組みやすい言語。文字はアルファベット26文字で表記され、発音はほぼ綴りどおり。動詞の独特な変化や派生語など、複雑な部分もあり、一概に“簡単”とは言えませんが、人称、格、時制、単数複数などによる品詞の変化もありません。本科では、ネイティブ講師と日本人講師により、聞く、話す、読む、書く、すべてを網羅した授業を展開し、丁寧に指導していきます。文法をしっかり勉強したい、会話が上手になりたい、映画やドラマが見たい、ユニークな文化に触れてみたい、などなど、様々なニーズにお応えすべく努力しています。レベルは基礎、初級、中級、上級。「レベル目安」と「講座内容」を熟読してご自身のレベルに最も近い講座を選んでください。基礎は初めてインドネシア語を学ぶ方のためのクラスですが、長いブランクがあって忘れてしまったという方にもお勧めです。学習経験があり、さらにステップアップしたい方はご自分のレベルに合わせてクラスを選択できます。

* 上級レベルの方には、さらなるスキルアップのための「セミナー a」と「セミナー b」を設定しています。

慶應外語 Web サイトにてご確認ください。

<http://www.fl.s.keio.ac.jp>

* 基礎から中級までは、成績がつきませんので(単科A)、次の学期に続けて受講をしたい人は、次に何を受講したらよいか、担当講師と学期末の授業中に相談するとよいでしょう。上級を受講した方には、講座終了後に成績が通知されるので(単科B)、今まで学んだことが身に付いたかどうか、判断の材料にしてください。

また、同じレベルにある2つの講座を同時に受講する単科セット科目を受講すると、学習効果も上がり、受講料も割引になるので、週2回受講をするお時間がある方にはお勧めです。

(単科講座を個別に複数受講しても受講料の割引はありません。)

<修了条件>

上級の2講座をすべて合格した場合、インドネシア語科講座の課程修了となり、希望者には修了証を発行します。

1学期に1講座ずつ受講をする場合は、期を空けずに連続して残りの講座を受講し、合格をすると修了となります。